

6 受文科初第 44 号
令和 6 年 11 月 8 日

各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
各 都 道 府 県 知 事
附属学校を置く各国公立大学法人学長 殿
小中高等学校を設置する学校設置会社を
所轄する構造改革特別区域法第 12 条第
1 項の認定を受けた各地方公共団体の長

文部科学省初等中等教育局長
望 月 禎

修学旅行等における 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の活用について

令和 9 年 3 月 19 日から 9 月 26 日にかけて、神奈川県横浜市において 2027 年国際園芸博覧会（以下「GREEN×EXPO 2027」という。）が開催されることとなっており、今般、国土交通省都市局及び農林水産省農産局から、別紙のとおり依頼がありました。

GREEN×EXPO 2027 は、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）に直面した人類が、「Nature-based Solutions（自然を活用した解決策）」という考え方により、自然や植物への理解を踏まえ、共生しながら「幸せを創る明日の風景」を描く国際園芸博覧会であり、将来の予測が困難な時代を生きる子供たちが、誰もが叶えたいと願う「幸せを創る明日の風景」をリアルに五感で体験することで、地球規模の課題を自分事として捉え、自ら考える力や創造力を育み、新たな価値観や行動変容をもたらすきっかけとなることを目指して準備が進められているところです。

については、各都道府県・指定都市教育委員会にあつては所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対して、各都道府県知事にあつては所轄の学校法人に対して、国公立大学法人の長にあつては設置する附属学校に対して、株式会社立学校を認定した地方公共団体の長にあつては認可した学校に対して周知いただくよう、よろしくお願い申し上げます。

その際、学校における働き方改革の観点から、周知の範囲及び方法については、全ての学校に一律に通知する以外にも、例えば、他の案件とまとめて周知する等、必要に応じて御判断いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、「教育旅行等における GREEN×EXPO 2027 の活用」について御質問等がある場合は、別紙記載の国土交通省都市局または農林水産省農産局へお問合せいただくようお願いいたします。

（別紙）教育旅行等における２０２７年国際園芸博覧会（GREEN×EXP02027）の活用について（依頼）（国土交通省都市局長及び農林水産省農産局長通知）

（別添）２０２７年国際園芸博覧会 教育旅行コンセプトブック

<本件担当>

（本通知全体及び修学旅行について）

文部科学省初等中等教育局児童生徒課

T E L 03-5253-4111（内線 2389）

（修学旅行以外の校外学習について）

文部科学省初等中等教育局教育課程課

T E L 03-5253-4111（内線 2565）

国 都 参 第 25 号
6 農 産 第 2926 号
令和 6 年 11 月 6 日

文部科学省初等中等教育局長
望 月 禎 殿

国土交通省都市局長
内 田 欽 也（公印省略）
農林水産省農産局長
松 尾 浩 則（公印省略）

教育旅行等における 2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の
活用について（依頼）

令和 9 年 3 月 19 日から 9 月 26 日にかけて、神奈川県横浜市において 2027 年国際園芸博覧会（以下「GREEN×EXPO 2027」という。）が開催されます。

GREEN×EXPO 2027 は、地球温暖化、生物多様性の損失、自然災害、感染症、食糧危機など、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）に直面した私たちが、「Nature-based Solutions（自然を活用した解決策）」という考え方により、自然や植物への理解を踏まえ、共生しながら「幸せを創る明日の風景」を描く国際園芸博覧会です。将来の予測が困難な時代を生きる子供たちが、誰もが叶えたいと願う「幸せを創る明日の風景」をリアルに五感で体験することで、地球規模の課題を自分事として捉え、自ら考える力や創造力を育み、新たな価値観や行動変容をもたらすきっかけとなることを目指します。

次代を担う子供たちにとって、GREEN×EXPO 2027 は多くの学びが得られる場であると考えられることから、昨年 8 月の 2027 年国際園芸博覧会関係閣僚会議において、「教育旅行等の促進についても検討、推進する。」とされているところです。

つきましては、学校における教育旅行等（修学旅行、遠足、社会科の見学、移動教室等の校外で行う活動をいう。）において GREEN×EXPO 2027 を活用いただけるよう、各都道府県教育委員会教育長等を通じ、所管及び域内の市町村管下の学校等に GREEN×EXPO 2027 に関する情報等（別添資料）を提供していただきたく、格段の御配慮をお願いいたします。

別添資料：2027 年国際園芸博覧会 教育旅行コンセプトブック

【参考】2027 年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の概要

開 催 者：公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会

開催期間：2027（令和 9）年 3 月 19 日（金）～9 月 26 日（日）（192 日間）

開催場所：横浜市旭区、瀬谷区

テ ー マ：幸せを創る明日の風景

<本件担当>

(本通知全体について)

国土交通省 都市局 参事官 (国際園芸博覧会担当) 付 下出、狩野 03-5253-8134 (直通)

(花き、農・食について)

農林水産省 農産局 園芸作物課 花き産業・施設園芸振興室 森明、眞殿 03-6738-6162 (直通)



2027年国際園芸博覧会



GREEN
×
EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

次世代を担う子どもたちと一緒に
地球の未来を見にいきませんか？

お問い合わせ

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 事業部 事業企画課 ✉ jigy@expo2027yokohama.or.jp

「国際園芸博覧会」とは？

園芸博覧会って聞くと
どんなイメージを持ちますか？



実は、さらにすごい体験が！

**地球環境をよくするための最先端の技術や
世界中の花・緑・食が集まる国際的なイベントです！**

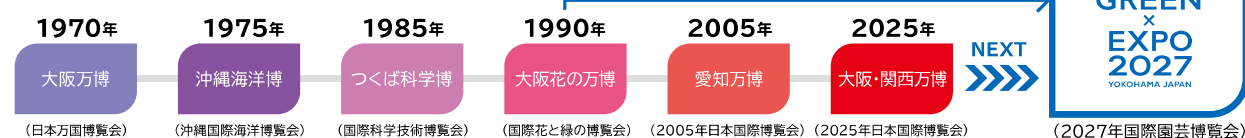
国際園芸博覧会は、世界各国の園芸文化の普及や花と緑のあふれる暮らし、地域・経済の創造や世界的問題の解決支援を目的に開催される国際的な博覧会です。博覧会には毎回テーマが定められており、そのテーマに合わせた展示や催し物を開催。さらに、世界各国から出展・人が集まるため、来場者はさまざまな国の文化にも触れ合うことができます。そんな国際園芸博覧会が、なんと横浜市で開催されるのです。今回横浜で開催される国際園芸博覧会は、「自然」「環境にやさしい」という「GREEN」と博覧会の「EXPO」をかけ合わせ、「GREEN×EXPO 2027」としています。

国際園芸博覧会の歴史

HISTORY

国際園芸博覧会のはじまりは、19世紀に欧州で発展した園芸展示会。1948年に欧州を中心とした民間の園芸関係団体によりAIPH（国際園芸家協会）が設立され、1960年にオランダ・ロッテルダムにて初の国際園芸博覧会が開催されました。当初は欧州を中心に開催されていましたが、1990年にアジア初の開催地として日本が選ばれ、「大阪花の万博」が開催。日本での開催は今回の横浜国際園芸博覧会で37年ぶりとなります。さらに「大阪花の万博」同様にBIE（博覧会国際事務局）の承認を受けており、EXPO（万博）の名を冠して開催されます。

【日本における万博の歴史】



来場者とともに描く “幸せを創る明日の風景”

Scenery of the Future for Happiness

GREEN×EXPO 2027は、地球温暖化、生物多様性の損失、自然災害、感染症、食糧危機など、プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）に直面した私たちが、Nature-based Solutions（＝自然を活用した解決策）という考え方により、自然や植物への理解を深め、共生しながら「幸せを創る明日の風景」を描く国際園芸博覧会です。

社会環境がめまぐるしく変化していくなか、今後の展望を見据えたとき、現時点で予測される社会の課題や変化に対応して人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の双方が必要となります。そのためには、地球規模の課題に自ら関わる問題として主体的に捉え、解決に向けて自分で考え、行動する力を育んでいくことが求められます。

GREEN×EXPO 2027は、将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちが、誰もが叶えたいと願う「幸せを創る明日の風景」をリアルに五感で体験することで、地球規模の課題を自分事として捉え、自ら考える力や創造力を育み、新たな価値観や行動変容をもたらすきっかけとなることを目指します。



▲詳しくはこちら



▲本博覧会に関する
動画はこちら



国際園芸博覧会で学べる
「3つの探究」を紹介します！



環境問題の解決に挑む最先端の技術

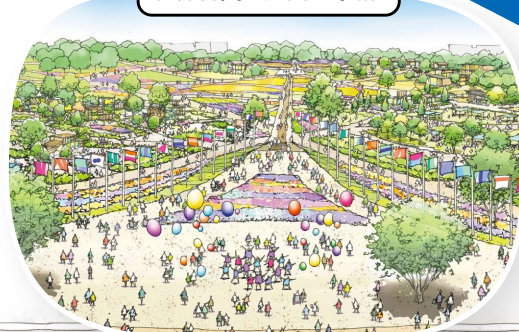


大催事場

自然と共に生きる知恵と技が込められた伝統産業



世界各国の庭園が集結



メインゲート

中催事場

Urban GX Village

国際出展ゾーン

Craft Village

Farm & Food Village

Kids Village

テーマ館

シンボルゾーン

屋内出展施設

園芸文化館

日本ゾーン

政府出展

SATOYAMA Village

自然との触れ合い、世界の人々との交流



美味しい食とそれを支える農の風景



日本の花・緑・文化



市民の森

美しい森と花、生物多様性への学び



※2024年3月現在の予定。今後の調整状況により変更になる可能性があります。

探究①「環境問題の解決策を学べる」

グリーントランスフォーメーション(GX) による未来社会を体感！

これからのカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出を全体でゼロにすること)を目指し、自然の力を活かした取り組みを進め、経済や社会を変革していくことを、グリーントランスフォーメーション(GX)といいます。自然資源を活かして再生可能なエネルギー利用を行ったり、自然界の仕組みを真似ることで革新的な技術開発を実現する取り組みが、世界中で進められています。

この最先端の取り組みが集まり、カーボンニュートラルを実現する未来を、この会場で体感できます。

探究②「自然と世界を学べる」

世界中の農と食、美しい花と緑、 様々な文化と出会い、 自然と世界の多様性を知る！

世界には様々な気候や地形があり、その上で多種多様な植物が生きており、各国の人々は、長い歴史の中で自然と関わり合いながら、それぞれの文化を育んできました。生きる源である農や食、暮らしを彩る花や緑、自然と共生する文化は世界様々で、それぞれの魅力があります。世界中の農・食・花・緑・文化が集まる国際園芸博覧会は、自然と世界の多様性(ダイバーシティ)を五感で体験し学べる絶好の機会です。

知っているようで知らない植物の世界 普段は見えない植物の真の姿を探る！

普段何気なく見ている植物ですが、最新の研究から、植物は想像を遥かに超える世界のなかで生きていることが分かってきました。私たちには見えない土の中で行われる植物同士のコミュニケーション、動物をも超える激しい動き、生き残るための戦略。博覧会では、植物の世界を五感で感じ取る仕掛けを用意しました。植物の不思議な姿に、みなさんきっと驚くと思います。



公式マスコットキャラクター
トウクトウ

名前について

人といろんな命が共鳴して、つながっている状態を表しています。このマスコットを通して、人間が万物への想像力や 調和の心をとりとどすことの大切さが広がってほしい、という想いを込めて名付けました。

プロフィール

はるか宇宙の彼方から、地球に憧れてやってきた好奇心いっぱいの精霊、それがトウクトウです。植物をはじめとした、この宇宙に生まれた万物の気持ちに共鳴しているので、その想いを人間に伝えてくれます。地球がきれいだとうれしくなって花を咲かせて踊ったり、地球が汚れると悲しくなって元気がなくなったりします。自然破壊・環境汚染などさまざまな課題を抱えているこの星で、人間と自然をつなぐ決意をしたキャラクターです。

性格 / ドキドキ・ワクワクすることが好き。
特技 / いろんな生きものや、ものの気持ちがわかる。
くせ / わくから外れて、飛び出そうとする。
夢 / みんなの気持ちがつながって、みんながなかよになること。

2027年国際園芸博覧会 開催概要

名 称	2027年国際園芸博覧会 International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan	開催地	神奈川県横浜市
正式略称	GREEN×EXPO 2027	開催者	公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
テ ー マ	幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～	開催期間	2027年3月19日(金曜日)～2027年9月26日(日曜日)
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺各駅からのシャトルバスによる輸送 ・空港や主要ターミナル発着場からの直行バス ・会場外駐車場による「パーク&ライド」 		

